

議事録

平成20年度 第78回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成20年6月24日(火) 13:30～14:30

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、近藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、稲月学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、晴山都市政策研究所長、赤塚学術情報総合センター長、田村入試センター長、吉塚地域貢献室長

配付資料

- 1 - 1 教員採用申請書(基盤教育センターひびきの分室)
- 1 - 2 欠員補充申請書(国際環境工学部)
- 1 - 3 欠員補充申請書(国際環境工学部)
- 1 - 4 欠員補充申請書(国際環境工学部)
- 2 特任教員・特任研究員の受入申請一覧(国際環境工学部)
- 3 - 1 北九州市立大学学則 改正概要
- 3 - 2 北九州市立大学 学則案

(冒頭、第77回教育研究審議会議事録(案)について確認。)

第1号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、基盤教育センターひびきの分室の異文化言語(英語)教育担当教員採用について、選考委員会から、学内公募で応募がなかったためグローバル公募に切り替えて再度募集することについて提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成21年3月31日付で定年退職する小野信輔教授の後任として、熱力学、熱機関工学分野担当の教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

議事録

* 資料1 - 3のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成21年3月31日付で定年退職する平山義則教授の後任として、伝熱学、物質移動工学分野担当の教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1 - 4のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成21年3月31日付で定年退職する相楽典泰教授の後任として、建築環境エネルギー分野担当の教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 特任研究員の受け入れについて

* 資料2のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、特任研究員1名の受け入れについて提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学則の改正について

* 地域創生学群の設置及び学校教育法改正に伴う学則の改正案について、資料3 - 1及び資料3 - 2のとおり提案。

地域創生学群設置についての文科省への届出から60日が経過し、平成21年度開設学部としての手続きが完了した。今後は志願者確保のための広報活動を積極的に行いたい。長期履修学生制度は学群の学生のみ適用するのか。

長期履修学生制度の利用が全学部とも可能となる旨を学則で規定するが、別途作成する規程で学群のみの適用とする予定である。また学群の中でも、どのような学生に適用するかは今後検討する。

長期履修学生の在学期間や休学等の取り扱いはどうなるのか。

在学期間は他の学生と変わらないが、その他の部分については今後検討する。

21年度以降の学部の収容定員は段階的に増えるが、学則にその旨を記載しなくてよいのか。認証評価で定員超過を見る際に、毎年の収容定員数が必要にならないか。

学則は、ビジネススクールの設置や学部学科再編のときと同様、完成年度(4年後)収容定員を明記することで整理している。文科省が指導している超過率は、入学定員に対

議事録

するものである（認証評価も同じ）。

入試制度等の地域創生学群の詳細な内容については、教育研究審議会で改めて説明の機会を設けたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

次回の審議会を7月8日（火）に開催する予定である旨、報告があった。